

児童発達支援 事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和2年02月15日

事業所名: 多機能型事業所 ま〜ぶる・び〜と

区分	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		適切であると考えます。	
	2 職員配置数は適切であるか	○		基準配置(2名)以上の配置並びに作業療法士を配置しております。	
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○		エレベーターの設置等、肢体不自由児の受入れも可能なため、問題ないと考えます。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		適切であると考えます。	
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○		定期的なMT等を開催しております。	
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		適時行っております。	
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		公開しております。	
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○	第三者委員における評価は行っておりません。	必要に応じ業務改善事項については取り組んでまいります。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		適時行っております。	
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○		実施しております。	
	11 子どもの適応行動の状況を計るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		実施しております。	
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		実施しております。	
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○		実施しております。	
	14 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		実施しております。	
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		スタッフ間でのMTにて、固定化、マンネリ化しないようにしております。	
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○		実施しております。	

区分	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		実施しております。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		実施しております。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		実施しております。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○		実施しております。	
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしいものが参画しているか	○		基本的にスケジュールを調整し、参加するようにしています。	しかし、相談支援専門員の都合により、会議開催の日程が3日～7日前にくる場合等は、参加できません。連絡調整を早めにとれるように相談支援事業所と連携を図ります。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○		以前に比べ、行政窓口とのやり取りが多くなり、連携ができたケースが増えました。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	○		医療・福祉・保育との連携は図られています。	教育との連携はまだ課題です。よって、いいえの評価となります。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	○		主治医との連絡調整は行っているケースが増えた。	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか		○	積極的に情報の共有はしていますが、保護者・他施設・弊社の3者による同意がある場合は、共有化を務めている。	より多くの方が同様に連携が図れるように働きかけます。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか		○	全く持って連携がとれません。	事業所単体では難しい問題ですので、相談支援事業所等を巻き込んで、連携とれるように働きかけます。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○	ほとんど連携が図れています。	顔の見える関係を構築してから、連携が図れると考えております。既に、アーチル様への打診はしておりますので、来年度は、実行に移せるようにさらに働きかけます。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○	ありません。	並行通園時が多いため弊社としての必要性は感じていない。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか		○	宮城野区に関しては、開催時間帯が合わない為参加していない。	以前、時間帯の調整要望は出しましたが、改善されません。また、ご利用している方が多い他の地域の参加も検討していますが、一向に事業所としての参加を認めてもらえません。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		実施しております。	
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	○		実施しております。		

区分	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	32 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約時におこなっております。また、不明な点や、法改正時にも行います。	
	33 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○		実施しております。	
	34 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		実施しております。	
	35 父母の会の活動を支援したり、保護者会などを開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○	父母の会は設置していませんが、保護者会(説明会)や勉強会の開催をしています。	今後は、父の会の定期的な開催を図ります。
	36 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか		○	弊社に関する事に関しては、実行しております。	しかし、他事業所様の苦情を受けた場合、弊社では対応できない場合があり、弊社としても対応しても、他事業所様が完全に改善しなくては(適切に対応しているか)にはなりませんので、このような自己評価となります。
	37 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか		○	不定期ではあるが、会報の配布は行っています。	不定期ではなく、定期的に出せるように検討します。
	38 個人情報の取扱いに十分注意しているか	○		実施しております。	
	39 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		実施しております。	
	40 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○	招待をするような行事は行っていません。	今後もお子様の特性等を考慮し、招待することはないと考えております。
非常時などの対応	41 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○		実施しております。	
	42 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		実施しております。	
	43 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○		確認しております。	
	44 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○	食べ物の提供は一切していません。	今後も食べ物の提供は致しません。
	45 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		実施しております。	
	46 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		実施しております。	
	47 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか		○	身体拘束に関しては、いかなる理由があっても行っていません。したがって、個別支援計画への記載はありません。	今後も身体拘束は致しません。